

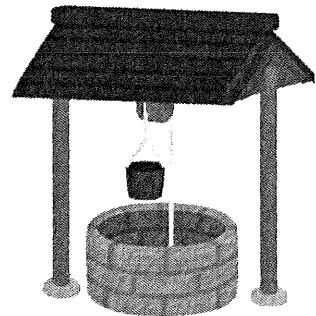
ピーフォス ピーフォア
PFOS・PFOAとは？

- ✓ PFOSは、ペルフルオロオクタンスルホン酸 (Per Fluoro Octane Sulfonic acid) の略称、PFOAは、ペルフルオロオクタン酸 (Per Fluoro Octanoic Acid) の略称で、いずれもフッ素を含む有機化合物の一種です。
- ✓ 撥水性と撥油性を併せ持つ特異な性質を有していることから、焦げ付かないフライパンや水をはじく衣服など、これまで様々な表面処理の用途に使用されてきました（なお、フライパンにPFOAはほとんど残存していないこと、また、フライパンを適切に使用した場合にはリスクがないことが確認されています）。
- ✓ 化学的に極めて安定性が高く、水溶性かつ不揮発性の物質であるため、環境中に放出された場合には河川等に移行しやすく、また難分解性のため、長期的に環境に残留すると考えられています。
- ✓ 人の健康への影響については、各国・各機関で知見が集積されつつあるものの、現時点において、発がん性等の毒性について国際的に統一された評価値はありません。
- ✓ 令和2年5月に、「人の健康の保護に関連する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況等からみて、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきもの」に指定され、河川や地下水などにおける暫定的な目標値（指針値）が設定されました。
- ✓ PFOS及びPFOAに関する情報はこちらからご確認いただけます。
大阪市「有機フッ素化合物（PFOS、PFOAなど）について」
<https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000541388.html>



大阪市の取組みについて

大阪市では、環境基準を超えている地下水（井戸水）に加えて、PFOS及びPFOAの濃度が国の暫定的な目標値を超えている地下水（井戸水）についても、継続して調査を行い、濃度の推移を監視しています。



お願い

大阪市では井戸に関する情報を集めています。
現在ご利用中の井戸をお持ちの方は下記お問合せ先までお知らせください。

お問合せ：大阪市環境局環境管理部環境管理課水環境保全グループ

住所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルO's棟南館5階
電話：06-6615-7984 ファックス：06-6615-7949
メール：ja0040@city.osaka.lg.jp

令和3年度PFOS及びPFOAに係る地下水調査の結果について

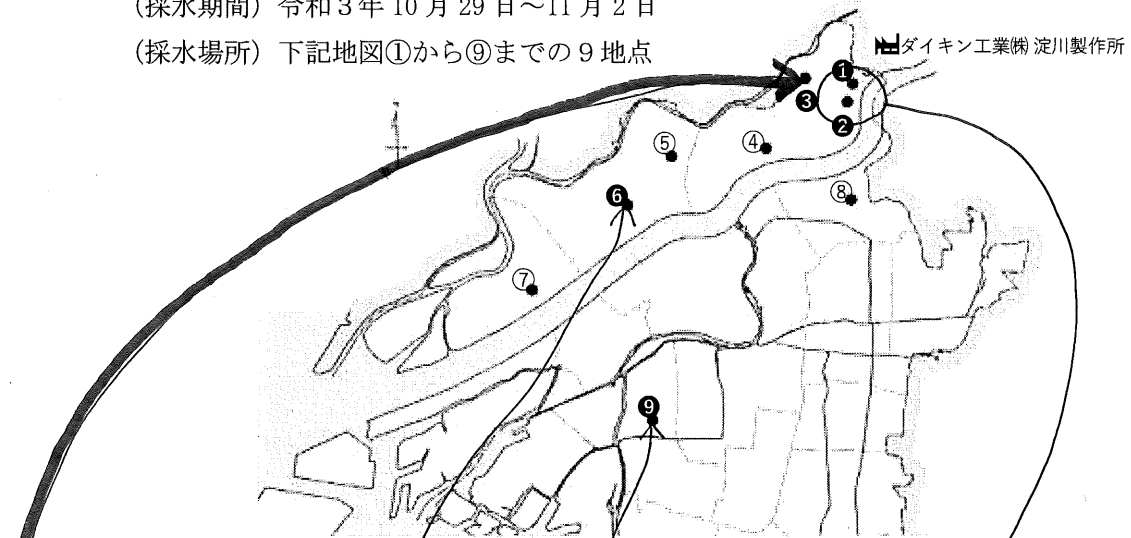
1. 調査の目的

本調査は、環境省「令和2年度有機フッ素化合物全国存在状況把握調査」において東淀川区にある井戸より暫定的な目標値（以下「指針値」）を超過した有機フッ素化合物（PFOS及びPFOA）が検出されたため、当該井戸における経年的な推移を把握するとともに、広域的な汚染の拡散状況を把握することを目的とする。

2. 調査内容

（採水期間）令和3年10月29日～11月2日

（採水場所）下記地図①から⑨までの9地点



3. 調査結果

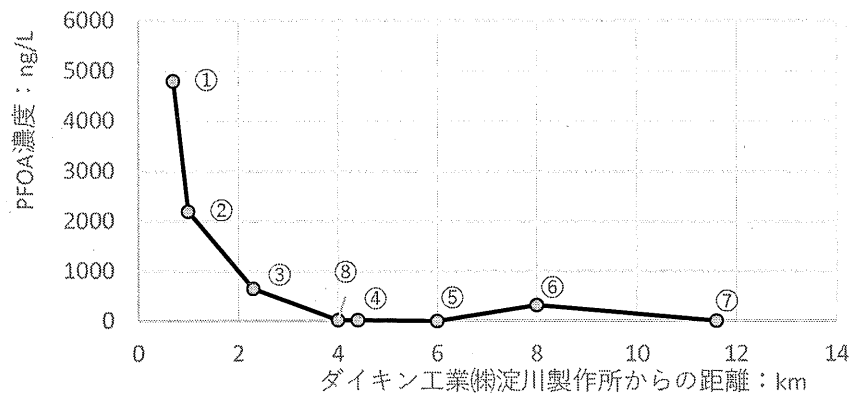
井戸所在地	距離	調査結果 (ng/L)	
		PFOSとPFOAの合算値	(PFOS/PFOA)
① 東淀川区 南江口	0.7km	4,800	(20/4,800)
② 東淀川区 大桐	1.0km	2,200	(13/2,200)
③ 東淀川区 瑞光	2.3km	<u>680</u>	(36/650)
④ 東淀川区 東淡路	4.4km	29	(7.3/22)
⑤ 淀川区 宮原	6.0km	ND	(ND/ND)
⑥ 淀川区 野中南	8.0km	490	(170/320)
⑦ 西淀川区 姫島	11.6km	14	(ND/11)
⑧ 旭区 清水	4.0km	23	(ND/20)
⑨ 西区 北堀江	11.6km	200	(45/150)

- （注） 1. 「距離」はダイキン工業(株)淀川製作所（摂津市西一津屋1-1）からの距離
 2. 指針値はPFOSとPFOAの合算値が50ng/L以下
 3. 合算値が太字の地点については、指針値を超過した地点
 4. 「ND」は「検出下限値未満」を示す
 5. ①及び②は令和2年度環境省調査の実施地点
 （令和2年度環境省調査結果 ①5,500ng/L、②1,700ng/L）

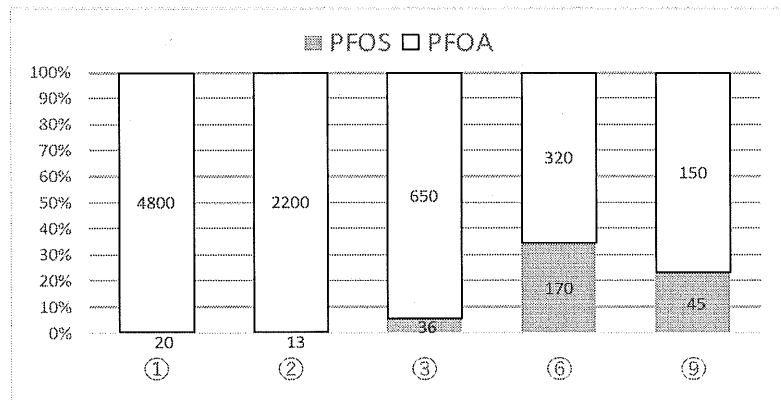
4. 調査結果考察

- ・東淀川区内の地点①～③については、PFOA 濃度の占める割合が 95%以上であることから、PFOA を製造していたダイキン工業(株)淀川製作所の影響が大きいと考えられる。
- ・地点⑧、④、⑤については指針値を下回っており、ダイキン工業(株)淀川製作所の影響により指針値を超過している恐れのある範囲は 4km 以内であると考えられる。
- ・地点⑥、⑨は指針値を超過しているが、ダイキン工業(株)淀川製作所からの距離及び、PFOA 濃度の占める割合が 65～80%と①～③と異なることから、ダイキン工業(株)淀川製作所の影響とは考え難い。

【ダイキン工業(株)淀川製作所からの距離と PFOA 濃度の関係】



【指針値を超過した地下水中の PFOS と PFOA の濃度の割合】

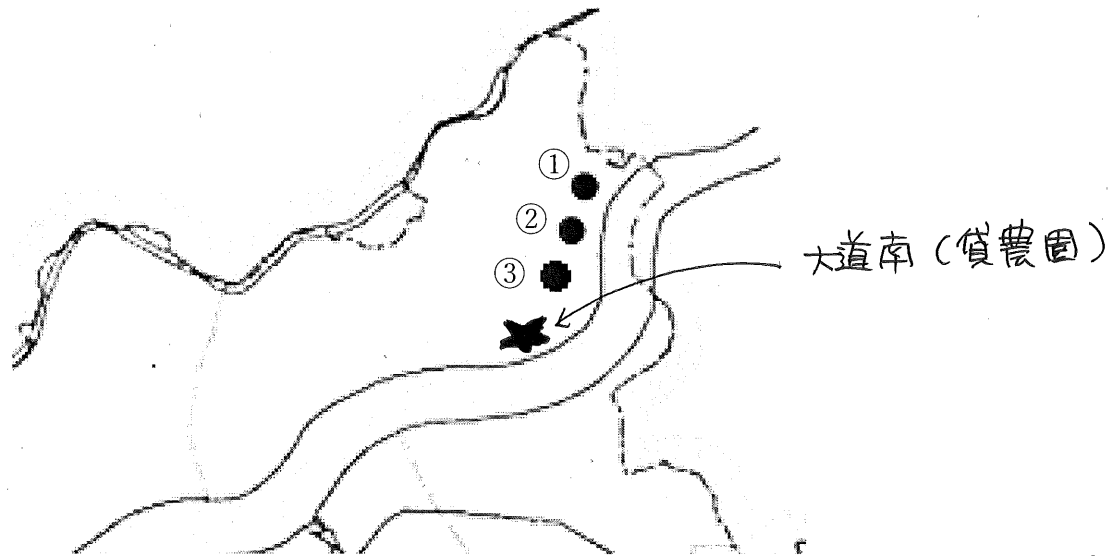


5. 調査結果を踏まえた対応

- ・今回の調査で指針値を超過した井戸（地点①、②、③、⑥、⑨）の所有者に対しては、引き続き井戸水を飲用しないよう指導するとともに、利用者に対しても飲用しないよう周知することを要請しています。
- ・上記井戸については、今後も経年的な濃度の変化を把握するため、引き続き定期的な調査を実施します。
- ・ダイキン工業(株)淀川製作所に対しては、大阪府とともに今後も継続して PFOA を含む地下水の処理を実施するよう要請します。
- ・地点⑥、⑨について、ダイキン工業(株)淀川製作所の影響以外の汚染要因について調査を実施しています。

令和4年度PFOS及びPFOA地下水調査（継続調査）

【調査地点図】



- | | |
|---------------|---|
| ① 東淀川区南江口（寺院） | PFOS と PFOA 合算値 5,500ng/L（令和2）4,800 ng/L（令和3） |
| ② 東淀川区大桐（貸農園） | PFOS と PFOA 合算値 1,700ng/L（令和2）2,200 ng/L（令和3） |
| ③ 東淀川区大桐（貸農園） | 令和4年度新規調査地点 |